

ラム附箋案カ賣渡ニ付キテ何等ノ制限ヲ
 為サ、ルニ拘ラス貨渡ニ對スル制限ヲ勅
 令ニ定メレトスルハ彼此權衡ヲ失スルモ
 ノト謂ハサルヘカラス
 以上ノ理由ニ依リ附箋案ノ規定ハ其當ヲ
 失スルモノト認ム

外甲乙

明治三十五年十一月五日

内閣總理大臣 才

法制局長官

外務省

王

大藏省

水

海軍省

権

文部省

文

逓信省

正

内務省

陸軍省

兵

司法省

農商務省

別紙樞密院副議長上奏韓國通用白銅
 貨ノ偽造變造取締ニ關スル件ヲ審査
 スルニ樞密院議決ノ通閣議決定裁可
 ヲ奏請セラレ可然ト認ム

勅令案

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十五年十一月七日

内閣總理大臣

内務大臣

外務大臣

上奏ノ通

臣等 韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件諮詢ノ命ヲ詔ニ本月五日ヲ以テ審議ヲ盡シ之ヲ修正可決セリ乃チ原案ヲ墨書シ院議ノ決スル所ヲ朱書シ謹テ上奏ニ更ニ

聖明ノ採擇ヲ仰ク

明治三十五年十一月五日

樞密院副議長伯爵 東宮四道 謹

勅令第二〇六號

第一條 韓國通用ノ白銅貨ハ之ヲ偽造
又ハ變造スルコトヲ得ス

第二條 偽造又ハ變造ノ韓國通用白銅
貨ハ之ヲ帝國ヨリ輸出シ若ハ韓國ニ輸入シ又ハ之ヲ

行使シ若ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ收
得スルコトヲ得ス

第三條 第一條及第二條ニ違反シタル
者及第一條ノ偽造又ハ變造ノ目的ヲ
以テ器械又ハ原料ヲ製造シ又ハ之ヲ

帝國ヨリ 韓國ニ
輸出シ若ハ輸入シタル者ハ一年以下

ノ重禁錮若ハ二百圓以内ノ罰金ニ處
ス

附則

本令ハ明治三十五年十一月十五日ヨリ之

ヲ施行ス

林
部
院

御覽濟内閣へ御下付

一日 為

内閣總理大臣

ハ

法制局長官

外務省

大蔵省

海軍省

文部省

逓信省

陸軍省

司法省

農商省

内務省

為

為

ハ

ハ

ハ

別紙外務大臣請議ノ件ヲ審査スルニ
請議ノ要旨ハ近來帝國臣民ニシテ帝
國又ハ韓國ニ在テ同國通用ノ白銅貨
ヲ偽造スル者アリテ國交上並通商上

去
刑
局

外甲三〇

明治三十五年十月三十一日

為

内閣總理大臣

小

法制局長官

外務省

正

大蔵省

收

海軍省

権

文部省

印

逓信省

正

内務省

為

陸軍省

為

司法省

印

農商務省

印

省

省

別紙外務大臣請議ノ件ヲ審査スルニ
請議ノ要旨ハ近來帝國臣民ニシテ帝
國又ハ韓國ニ在テ同國通用ノ白銅貨
ヲ偽造スル者アリテ國交上並通商上

去
刑
局

不勘障害アルニ依リ之カ取締、規程ヲ設ケントスルニ在リテ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通閣議決定セラレ可然ト認ム但シ呈案附箋ハ主務省協議濟

本件ハ樞密院、御諮詢相成可然ト認ム

勅令案

呈案附箋ノ通

一七二

近來帝國臣民ニシテ帝國又ハ韓國ニ在リ同國通用ノ白銅貨ヲ偽造スル者日々其數ヲ増加シ為ニ國交上竝ニ通商上不堪障害ヲ來シ候處日韓條規附録ニ於テハ兩國人民私ニ錢貨ヲ鑄造スル者アリハ各其國ノ法律ニ照シテ處断スル旨ノ規定アルニ拘ラズ現行法令ニ於テハ此條約違反ノ處為ニ對シ直接取締ヲ施スルキ規定ノ存在セサルハ頗ル不備ト存候間明治二十三年法律第八十四號ニ據リ勅令ヲ以テ必要ノ取締規定制定相成候様至急御奏請相成度別紙勅令案ヲ具シ茲ニ閣議ニ提出候也

明治三十五年十月廿四日

外務大臣男爵小村壽太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十五年十一月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 韓國通用白銅貨ハ之ヲ偽造又ハ變

明治三十五年十月廿四日

外務大臣男爵小村壽太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十五年十一月 日

内務大臣

勅令第 號

第一條 韓國通用白銅貨ハ之ヲ偽造又ハ變

造スルコトヲ得ス

第二條 偽造又ハ變造ノ韓國通用白銅貨ハ之ヲ輸出シ若ハ輸入シ又ハ之ヲ行使シ若ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ收得スルコトヲ得ス

第三條 第一條及第二條ニ違反シタル者及第一條ノ偽造又ハ變造ノ目的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ製造シ又ハ之ヲ輸出シ若ハ輸入シタル者ハ一年以下ノ重禁錮若ハ二百圓以内ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ明治三十五年十一月 日ヨリ之ヲ施行ス

付箋

韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件別紙之通決議上奏候條此段及御通牒候也

明治三十五年十一月五日

樞密院副議長伯爵東久世通禧

内閣總理大臣伯爵桂 太郎 殿

造スルコトヲ得ス

第二條 偽造又ハ變造ノ韓國通用白銅貨ハ之ヲ輸出シ若ハ輸入シ又ハ之ヲ行使シ若ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ收得スルコトヲ得ス

第三條 第一條及第二條ニ違反シタル者及第一條ノ為造又ハ變造ノ目的ヲ以テ器械又ハ原料

ル者ハ等罰金ハ付

發布ノ際施行ノ日付記入ヲ要ス

行ス

法務局

韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件別紙之通決議上奏候條此段及御通牒候也

明治三十五年十一月五日

樞密院副議長伯爵東久世通禧

内閣總理大臣伯爵桂 太郎 殿

臣等 韓國通用白銅貨ノ偽造變造取締
ニ關スルノ件 諮詢ノ命ヲ恪々本月五日
ヲ以テ審議ヲ盡シ之ヲ修正可決セリ乃
千原案ヲ墨書シ院議ノ決スル所ヲ朱
書シ謹テ上奏シ更ニ
聖明ノ採擇ヲ仰ク

明治三十五年十一月五日

樞密院副議長伯爵臣東久世通禧

勅令第

號

第一條 韓國通用ノ白銅貨ハ之ヲ偽造又ハ變造スルコトヲ得ス

第二條 偽造又ハ變造ノ韓國通用白銅貨ハ之ヲ^{帝國ヨリ}輸出シ若ハ^{韓國ニ}輸入シ又ハ

之ヲ行使シ若ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ收得スルコトヲ得ス

第三條 第一條及第二條ニ違反シタ
ル者及第一條ノ偽造又ハ變造ノ目
的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ製造シ又
ハ之ヲ^{帝國ヨリ}輸出シ若ハ^{韓國ニ}輸入シタル者ハ
一年以下ノ重禁錮若ハ二百圓以内
ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ明治三十五年十一月 日ヨリ
之ヲ施行ス

一 韓國通用白銅貨、偽造變造取締ニ関スル
件

右是等ニ付通知給付三件、外明五日（水
曜）午前十時會議決用ノ間要員ニ出
出ル所ニ於テ此段及古通通知也
昭和三十一年十月四日

植木忠之丞記官

内閣書記官印

リテ國立

一韓國通用白銅貨，偽造變造取締ニ関スル
件

右是等ニ付通知給呈スル三件、外明五日（水
曜）日午前十時會議後閉會間委員各氏差
出ル所ニ於此段及古通通知也
昭和三十一年十月廿日

樞密院之記官

内閣書記官以中

廢案

外甲三。

明治三十五年十月廿日

内閣總理大臣

法制局長官

付筆

内務省

陸軍省

司法省

農商務省

警務省

文部省

海軍省

文部省

文部省

別紙外務大臣請願，件ヲ審査スルニ請

願，要旨，近來帝國臣民ニテ帝國又強

國ニ在リ同國通用，白銅貨ヲ偽造スル者，

ニ國交上迄通商上不敷障礙生ズルニ係

品別編

外國金銀
目的不
法不備
小且刑
本條，効
本條，美
本條，飛
兩單純
右如，單
ニ，司法
關係有
ル，必要

一、銀國通用白銅貨，幣法(改)ニ係

臣民之謂帝國又稱
白銅貨ヲ造出ル者
高上不敷障害ルニ依

付箋

附紙

外國金銀貨及紙幣ニ関シテハ既ニ刑法ノ正條了唯本案ノ
目的トスル自銅貨ヲ漏ス則チ本案ハ韓國自銅貨ニ関スル
法文不備ヲ補ハトスルニ止ルモニシテ其ノ實際ノ目的ハ甚多
小ナリ且刑法改正草案ニハ此等ノ缺漏ヲ補充スル條文了則チ
本案ノ効用ヲ為スコト甚多短ト云フヲ得
本案ノ實際ノ目的此如ク小ニシテ其効用亦此如ク短カニ依
本案ノ形式ヲ此ニ相應セシメ單ニ自銅貨偽造等ヲ禁止ス
兩單純ナル行政警察命令トシテ散布セシムル可トス
右如ク單純ナル行政命令トシテ散布セシムル可トス
ラ、司法大臣ノ副署ヲ要セシムル雖此事ハ司法大臣ノ職務ト
ニ關係ス有テ依リ特ニ司法大臣ニ囑付シテ其ノ意見ヲ求メ
ル必要了

水

甲三〇

之カ取締、規程ヲ設ケレトスルニ在リテ相
當ノ儀ト思考ス依テ清議ノ通関議決定
セラレ可然ト認口但シ呈案附箋ハ主務省協議

濟

本件ハ樞密院、御諮詢相成可然ト認口

勅令案

呈案附箋ノ通

機密送第一七一號

近來帝國臣民ニシテ帝國又ハ韓國ニ在

テ同國通用ノ白銅貨ヲ偽造スル者日々其

數ヲ増加シ為ニ國交上並ニ通商上ノ不尠障

害ヲ來シ候處日韓條約附録ニ於

テハ兩國人民私ニ錢貨ヲ鑄造スル者ア各

其國ノ法律ニ照シテ處断スヘキ旨ノ規定ア

ルニ拘ラス現行法令ニ於テハ此條約違反ノ處

為ニ對シ直接取締ヲ施スヘキ規定ノ存在

スルハ頗ル不備ト存候間明治二十三年法

律第八十四號ニ據リ勅令ヲ以テ必要ノ取

締規定制定相成候様至急御奏請相

成度別紙勅令案ヲ目大ニ茲ニ閣議ニ提

付箋

之口不締、規程ヲ設ケントスルニ在リテ相
當ノ係ト思考ス依テ請議ノ通函議決定
セラレ可然ト認口但シ呈案附箋ハ主務省協議
濟

本件ハ樞密院、御諮詢相成可然ト認口

勅令案

呈案附箋ノ通

機密送第一七一號

近來帝國臣民ニシテ、戶國又ハ韓國ニ在

テ同國通用ノ白銅貨
數ヲ増加シ為ニ國交

害ヲ來シ候處日韓條約條文

テハ兩國人民私ニ錢貨ヲ鑄造スル者アリ各

其國ノ法律ニ照シテ處斷スル旨ノ規定アリ

ルニ拘ラス現行法令ニ於テハ此條約違反ノ處

為ニ對シ直接取締ヲ施スルキ規定ノ存在

マサルハ頗ル不備ト存候間明治二十三年法

律第八十四條ニ據リ勅令ヲ以テ必要ノ取

締規定制定相成候様至急御奏請相

成度別紙勅令案ヲ目スニ茲ニ閣議ニ提

外第一一號

出候也

明治三十五年十月廿四日

外務大臣男爵小村壽太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ締盟國通用ノ貨幣紙幣又ハ兌換銀行券ノ偽造變造取締ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十五年十月 日

内閣總理大臣
外務大臣

勅令第 號

第一條 締盟國通用ノ貨幣紙幣又ハ兌換銀

出候也

明治三十五年十月廿四日

外務大臣男爵小村壽太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ締盟國通用ノ貨幣紙幣又ハ兌換銀行券ノ偽造變造取締ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十五年十月 日

内 外
司 務
恩 里
大 臣
大 臣

勅令第 號

第一條 締盟國通用ノ貨幣紙幣又ハ兌換銀

行券ハ之ヲ偽造又ハ變造スルコトヲ得ス

第二條 偽造又ハ變造ノ締盟國通商貨幣紙幣又ハ兌換銀行券ハ之ヲ輸出シ輸入シ又ハ之ヲ行使シ若ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ收得スルコトヲ得ス

第三條 第一條及第二條ニ違反シタル者及第一條ノ偽造又ハ變造ノ目的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ製造シ又ハ之ヲ輸出シ輸入シタル者ハ一年以下ノ重禁錮若ハ二百圓以内ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ明治三十年十月日ヨリ施行ス

○日韓條約條規附錄 明治九年十月布告第五百七号

第七款

日本國人民是國ノ通商貨幣又ハ朝鮮國人民所有物ト交換シ得シ又朝鮮國人民ト交換シ買得シ日本國ノ通商貨幣又ハ是國ノ諸貨物ヲ買入ルニ爲メ朝鮮國指定ノ諸港ニハ人民相互ニ通用スルコト得シ

日本國人民朝鮮國通商貨幣ヲ使用運輸スルコト得シ西國人民私ニ錢貨ヲ鑄造スル者ハ亦又同ノ法律ニ照シテ處断スルコト

通貨及證券模造取締法

第一條 貨幣、政府發行紙幣、銀行紙幣、兌換銀行券、國債證券及地方債證券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第二條 前條ニ違犯シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三條 第一條ニ掲ケタル物件ハ刑法ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス警察官ニ於テ之ヲ破毀スヘシ

第四條 第一條ニ掲ケタル物件ニハ明治九年布告第五十七號ヲ適用ス

○ 贋造金銀銅貨紙幣等取扱規則 明治九年四月
第五十七號布告
銀行又ハ爲替方又ハ兩替屋又ハ官廳ニ於テ備入候鑑定人等金銀銅貨紙幣ヲ鑑定ノ節贋造品取扱規則
左ノ通相定候條此旨布告候事

贋造金銀銅貨紙幣等取扱規則

第一條 新金銀銅貨紙幣等贋造品ハ詳ニ其原由及持主ノ宿所姓名ヲ尋ネ其面前ニ於テ斷截シ速ニ其
最宜「警察出張所」或ハ「屯所」或ハ區戸長ニ差出シ其顛末ヲ申立ツヘシ若シ官廳ニ關スルハ該廳
ヨリ警察官署ニ通知スヘシ

但持主立會ハナル時ハ必ス代理人ヲ出サシムヘシ遠隔ノ地ヨリ遞送シ來レル者ハ立會人ヲ取リ
テ之ヲ斷截シ速ニ遞送主ヘ報告スヘシ

第二條 鑑定ヲ誤リ正貨紙幣ヲ斷截シタル時ハ改人ヨリ持主ヘ其斷截シタル正貨紙幣ヲ其同等ノ品
ト引換相渡シ其斷截シタル紙幣ハ事由ヲ詳記シテ管轄廳ヘ引換ヲ乞フヘシ

第三條 若シ正贋定メ難キモノ有之節ハ其原由及持主ノ宿所姓名ヲ分明ニ記載シ持主ノ面前ニ於テ
其品ヲ封シ持主ヲシテ之ニ封印セシメ鑑定者ヨリ管轄廳ヘ差出スヘシ然ル時ハ該廳ニ於テ詳細吟
味ノ上全ク正品ニシテ其製充分ナラス通用ノ際人民ノ疑ヲ生スヘキモノハ直ニ持主ヘ引換渡スヘ
シ其贋造品ハ第一條ニ依ル

第四條 古金銀貨幣贋造品ハ持主又ハ代理人ノ面前ニ於テ斷截シ直ニ其持主又ハ代理人ヘ還付スヘ
シ

第五條 贋造ヲ知ルト雖モ斷截セスシテ持主ニ還付シ又ハ申立ヲ等閑ニスル者ハ相當ノ處罰ヲ爲ス
ヘシ

○命令ノ條項違犯ノ罰
命令ノ條項違犯ニ關スル罰則ハ法律第六十
命令ノ條項違犯スル者ハ若シ命令ノ規定ニ
所ニ從ヒ二百圓以内ノ罰金若シ一年以内ノ禁錮
ニ處ス

刑法

第一百八十二條

内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ

偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第一百八十三條

内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨

ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重

禁錮ニ處ス

第一百八十四條

官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ

偽

造

偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ
從ヒ前ニ條ノ例ニ照シテ處断ス

第百十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ
輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮
ニ處ス

第百十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造（巴ニ

成ラ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其
未タ成ラサル者ハ二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ著手セサル者ハ各

三等ヲ減ス

第百十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ庫ヲ

受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ケ
ヘキ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ヲ為シテ雜役ニ供シタル者ハ職
工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第百十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知
テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑

ニ照シ二等ヲ減ス

第百十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入

シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第百九十一條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受

シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタ

ル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百九十二條 前教條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕重

ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付

ス

第百九十三條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入收受

シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シ

タルトキハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ

監視ニ付ス

若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者

未タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ

本刑ヲ免ス

第百九十三條 貨幣ヲ收受スルノ後ニ於テ

偽造又ハ變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタ

ル者ハ其價額ニ依リ罰金ニ處ス但其罰

金ハ二月以下ニ降スヲ得ス

田宮宗太郎

内子、書をよむ、
十年、
簡

幣法陳者存口何多以

當省本臣等 國議提出

如故 幣法通國 侯

幣 紙幣 及兌換銀

以著偽造及造者取

條 規定 制定方 何

至急 案 施 之要ニ其意義ニ付来

通 大 曜 議 提

至急宗施
ヲ要シテ其宗義ニ付来

週六曜日ノ閣議提

出立ルル 務以取訂
ルル

依命一段有依
依

敬具

外務省通商局長

廿五年
十月廿四
杉村 濬

内閣書記官長

依命以段及在依命

敬具

外務省通商局長

廿五年
十月廿四

杉村 濬

内閣書記官長

紫田家門殿